

県下の交通事故

(平成7年11月20日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
年別			
平成6年	4,506件	106人	5,960人
平成7年	4,751件	82人	6,221人
比較	+245件	-24人	+261人



◇ 第110号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827

年末年始の交通事故防止県民運動

12月10日(日)から
 1月10日(水)まで

運動の重点

- 一、飲酒運転の絶滅
- 二、シートベルトの着用の徹底
- 三、若者と高齢者の交通事故防止



反対車線にまでおよんだトラックの横転事故(中央道)

年末年始の交通事故防止県民運動は、年末年始には帰省客が増えて交通が混雑し、あわただしさに加えて飲酒の機会が増えることから、県交通安全協会・県交通安全推進協議会が主催し、県警、市町村、県交通安全協会等関係機関、団体が中心となり、本県独自の運動として、県民総ぐるみの交通事故防止活動をすすめていくものです。

ベルトは命綱であることを明らかに物語っています。
 ●若者と高齢者の重大事故が多く、両者を合わせた死者は十一月二十日現在で四十九人、全死者の六二%にも達しています。

交通事故を防いで笑顔でお正月を

全国の交通事故による死者は、十一月二十日現在、九千二百六十二人で、昨年同期より三十七人減ですが、大晦日までは一万人を突破することは必至とみられています。
 県内の交通事故による死者は、十一月二十日現在八十二人で前年比二十四人減と、好ましい情勢にありますが、件数、傷者は増加しており、死亡事故への転化が心配されています。

運動の重点目標は、今年県内に発生した交通事故の分析結果によるものです。
 ●飲酒運転による事故は、十月末現在で二百二十七件あり、死者十三人、重傷者は五十一人で、二八・二%に達しています。このうちには違反として取り上げられない微量の飲酒者による事故も含まれています。「酒を飲んだら運転しない」を必ず守りましょう。
 ●シートベルトの着用率は、十月中の調査では約六〇%、うち県外車の方が一〇%程良いようです。死亡事故の着用率は、一三・三%と極端に低く、「シートベルトは命綱」であることを明らかに物語っています。
 ●若者と高齢者の重大事故が多く、両者を合わせた死者は十一月二十日現在で四十九人、全死者の六二%にも達しています。



安全のために

今年、年初から阪神・淡路大震災が発生するなど多難なスタートとなりましたが、いよいよ師走を迎え、人の動きにも何かと気付きを感じる時期となりました。

交通安全は生活の基盤

県警交通規制課長 池谷克己
 転者教育の充実などの諸施策を積極的に推進してまいります。
 特に、信号機、標識、標示等の交通安全施設については、昭和四十一年からの数次にわたる事業



作るのは県民一人ひとりの処し方如何にかかってきます。
 お互いが交通の場において、相手の立場を尊重し、優しさと思いやりのある心をもって行動することが交通安全への近道であり、また、基本でもありません。

全国的には八年連続して死者数一万人を超えるペースで推移するなど、誠に厳しい状況となっております。本県でも十一月二十日現在八十二人の尊い生命が失われ、特に若者と

計画により、県民生活に適合した交通環境の整備を推進しており、交通事故防止に多くの成果もたらしています。
 ところで、「交通」は、し、優しさと思いやりのある心をもって行動することが交通安全への近道であり、また、基本でもありません。

▽間もなく新しい年になります。年末はいつも交通事故が多発しますので一人ひとりが、さらに注意心をかきたて、交通事故に遭うことなく、笑顔で新春を迎えられますことをお祈りしています。



早や師走。今年もあと僅かになりました。振り返ってみると今年も年初から阪神淡路大震災の発生にまだに続いているオウム教の狂乱事件の捜査など大変な年でした。交通事故による死者も十一月十三日に全国で九千人を突破しており、今年も一万人を超えることが必至とみられています。

第37回県下中学生弁論大会

浅川鮎子さん(2年)優勝

地区代表17人が競う

県警察本部と県交通安全協会主催の第37回山梨県中学生交通安全弁論大会は、十月十二日(休)甲府市宝一丁目ニュー機山で開かれました。

大会では、県下十五地区での予選を勝ち抜いてきた中学生十七人が、交通安全の提言など熱弁を振りかざし、強い感銘を与えました。

審査の結果、「ゆとり」の心で交通戦争に終戦を」と題して訴えた泉中学校二年生浅川鮎子さんが優勝し、山梨県知事賞を受賞しました。

準優勝は僅差で韮崎西中学校三年島村葵子さん、熱弁を振るう地区代表の中学生弁士

続いて大和中二年窪夏希さん、東中二年寺田奈津美さんでした。(優勝者の弁論全文は、新年号に掲載予定)

二輪車指導員が熱心に学習

原付等講習制度導入で県二輪車安全運転推進委員会(酒井澄男委員長)では、十月二十九日(日)、八田村の運転免許センターで二輪車安全運転指導員の講習会を開きました。

この講習会は、指導員の指導力を高めるために毎年一回行われているもので、当日は九十人が参加して、新たに導入されることになった「原付等講習」(原付免許既得者の講習)の指導要領を中

心に、運転免許課八代講習指導官等を講師として学習しました。

高齢者向けビデオ

病院待合室で活用

県交通安全協会(志村哲良会長)では、県警交通企画課の指導のもと、高齢者の交通事故防止を

図るため高齢者向け啓発用ビデオ七本、小冊子一万五千部を作成し、県医師会のご協力を得て、十一月二十二日からビデオの上映と小冊子の配布を行っています。

病院で上映してもらったビデオ「お年寄りの愉快な交通安全」等の七種類で一カ月程度で交換していくことにしています。

また、小冊子は作成した一万五千部のうち一万部を各安協に配布し、高齢者宅の訪問指導時に手渡すことにしています。

「道路の正しい渡り方」の講話、幅員六メートルの模倣道路の「横断所要時間の計測」等が行われ、また、配備されたシートベルト着用体験車の試乗をしてシートベルト着用の必要性を体験から学びとっていただきました。

小笠原安協

小笠原交通安全協会(松田良一会長)では、櫛形老壮大学で交通安全教室を開いて高齢者の交通事故防止を図りました。

交通安全教室では、

好評の反射材即売会

南甲府交通安全協会(鷹野正慈会長)の婦人部(岡美恵子部長)では、甲府市内の小瀬スポーツ公園で開催された九月九日(日)の「いきいき山梨ねんりんピック」と九月二十四日(日)の「交通安全体験フェア」の会場へ、反射材の展示即売所を出し

この二回の出店で販売された反射材は、二十品目二百四十八点のぼっています。

交通安全パザールと反射材の展示即売

市川安協

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、十月十五日(日)市川警察署の前庭で、交通安全パザールと反射材の展示即売を行いました。

パザールでは、安協役員が品物を持ち寄って廉価で販売し、売上げ金を交通安全活動に使うものとするので、この日の売上げ金は三十四万円にも達しました。

また、同じ会場に反射材の展示即売所を設けて普及にあたりました。

秋の安全運動などを協議

県安協理事会

県交通安全協会(志村哲良会長)は、九月五日(火)、甲府市内ニュー機山

「もしも」に備えた災害補償付反射材

全国に先駆けて来年一月から発売

県交通安全協会では、夜間の交通事故を少しでも減らそうと、県下各交通安全協会の皆様のご協力を得て、全日本交通安全協会幹旋の反射材の個別販売をしていますが、全国に先駆けて、来年一月から「もしも」の時には見舞金が支払われる「災害補償付反射材」を新たに発売することにいたしました。

この「災害補償付反射材」は、反射材の代金に若干の負担金(二百円未満)を上乗せした金額でお買いになれば、着用を指定された人が、歩行者または、自転車利用者として交通事故に遭ったときに、受傷内容によって一定の見舞金が支払われるというものです。

交通事故は、購入後一年以内の事故で、請求できる期間は、交通事故が発生してから二年以内です。

詳細は、県安協事務局(県民会館二階)または各地区安協事務局(警察署内)へお問い合わせください。

で理事会を開催し、秋の全国交通安全運動の取り組み方を中心に協議しました。

理事會では、まず秋の全国交通安全運動について協議し、運動の重点の〇高齢者事故防止について、

体験装置を最大限に活用することを確認しました。

また、原付自転車の事故防止のために、警察庁が新施策として打ち出した原付免許既得者の実技講習については、受講希望者を募って県二輪車安全運転推進委員会を中心にするにすめていくことにしました。

お知らせ!!

毎年秋に行っていました表彰式は、平成七年度から、年明けの一月二十三日に県民会館で「平成八年交通安全推進県民大会(仮称)」を開き、その席上で行うことになりました。

〇八田村の山梨県安全運転学校で運転免許の更新を予定されている方は、年末年始は大変混雑します。特に一月四日は日曜日の倍以上の大混雑となりますので避けてください。

地区だより

秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動は、九月十一日から三十日までの十日間行われました。

各地区安協では、工夫をこらした多彩な行事を繰りひろげましたので、その一端をご紹介します。

期間中の県内での交通事故発生状況は、五十三件(前年同期比四十件減)、死者一人(一人増)、傷者七十一人(五十七人減)でした。



甲府駅で交通安全を訴える(甲府)



街頭指導所の開所式(県対室)



シートベルトコンペンサーの活用(小笠原)



ミニ看板で着用を訴える(南甲府)



幼稚園児のマーチングバンドを先頭に(南部)



事故多発交差点で交通指導(飯沢)



いざ街頭指導に出陣(石和)



シートベルト着用効果の実験(市川)



交通安全短冊付の風船を放つ園児たち(富士吉田)

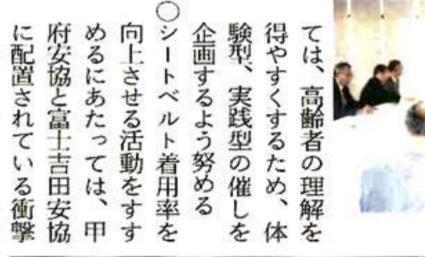


集団検診所へ「おしかけ交通安全」(日下部)

秋の安全運動などを協議

県安協理事会

県交通安全協会(志村哲良会長)は、九月五日(火)、甲府市内ニュー機山



県安協・理事会

〇毎年秋に行っていました表彰式は、平成七年度から、年明けの一月二十三日に県民会館で「平成八年交通安全推進県民大会(仮称)」を開き、その席上で行うことになりました。

〇八田村の山梨県安全運転学校で運転免許の更新を予定されている方は、年末年始は大変混雑します。特に一月四日は日曜日の倍以上の大混雑となりますので避けてください。